

# iSeriesとIXSにより Windowsサーバーの統合を実現



## 株式会社宮崎

### Corporate Profile

創業	1928年
設立	1952年
資本金	4800万円
従業員数	46名
代表取締役社長	宮崎 洋
本社	群馬県高崎市問屋町1-4-2

### ■ 直営小売り事業の ■ 顧客管理と単品管理を実現

高崎市の南銀座通りの一角に、江戸時代の町屋を彷彿とさせる美しい「きもの彦太郎」の店舗がある。京友禅の着物や小粋な和装小物が並ぶこの店は、宮崎の運営する直営店だ。

同社の創業は昭和3年。もともとは北関東をベースに和装・洋装および宝飾品の卸しを手がけてきたが、消費者ニーズを迅速にキャッチする狙いもあり、1997年に洋装品および宝飾品を扱う直営ブティック「ソシエ」をオープン。さらに2003年には宝飾品専門の「綺羅倶楽部」と前述の「彦太郎」を開店し、直営小売業へと事業を拡大した。

同社は卸し業務のための販売管理システムを、1990年初頭からAS/400上で運用しているが、昨年夏にそのホストコンピュータを「iSeries モデル800」へリプレース。同時に情報環境を一新した。狙いは直営小売り事業における顧客管理の整備および単品管理の実現にある。そ

の背景を、総務部の三輪義孝次長は次のように語っている。

「今まで直営小売り事業の販売管理はPCサーバー上で運用し、売り上げデータをiSeriesの基幹業務システムへ送信していました。しかし店舗にはPOS端末を導入しておらず、一般のお客様を対象にした顧客管理や徹底した単品管理などが実現できていませんでした。そこでiSeriesをリプレースすると同時に、PC-POSを導入し、小売り事業の情報強化を図ろうと考えたのです」

店舗向けの販売管理システムは、店舗数が3拠点と少数であることも考慮して、引き続きPCサーバー上で運用することとし、Windows 2000上で稼働する宝飾業界向けの商品・顧客管理パッケージ「GEMシステム(ユーテック)の導入を決定した。しかしここで問題になったのが、運用管理の負荷増大であった。同社には情報システム部門がなく、導入検討やシステム企画、運用管理の一切が三輪次長一人の手に委ねられている。現在でも業務は手いっぱいであり、店舗へ

のPC-POS導入など利用範囲が拡大し、Windowsサーバーの運用管理業務などが加わると、システム要員の増員を余儀なくされることは間違いない。

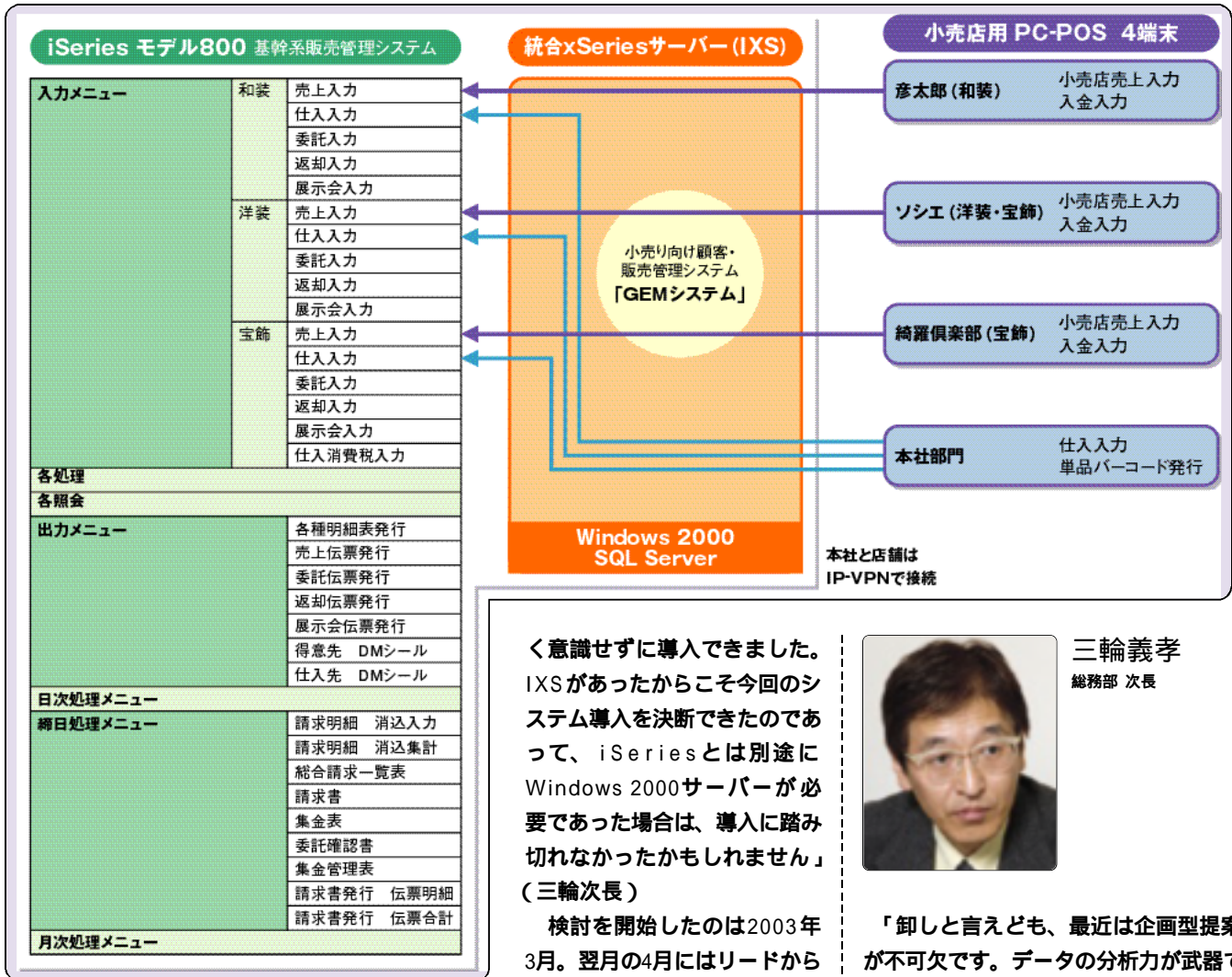
そこで、以前から同社のシステム導入・開発を担っていたリード株式会社が提案したのが「統合xSeriesサーバー(IXS)」の利用であった。

### ■ Windowsサーバーの ■ 煩雑な運用管理から解放

IXSは、インテルプロセッサを搭載した基盤をiSeries内部に直接組み込むことでWindowsサーバーの統合を実現するもの。これによりWindowsアプリケーションを利用する際にも、iSeriesの特徴である単一レベル記憶などと同じ仕組みでディスクを共有し、iSeriesとWindowsサーバーのバックアップを一元的に実行したり、OS/400の運用管理機能を利用してWindowsアプリケーションを管理することが可能になる。

つまりWindowsサーバーに特有の煩

## システム概要



く意識せずに導入できました。IXSがあったからこそ今回のシステム導入を決断できたのであって、iSeriesとは別途にWindows 2000サーバーが必要であった場合は、導入に踏み切れなかったかもしれません」(三輪次長)

検討を開始したのは2003年3月。翌月の4月にはリードからの提案を承認し、「iSeriesモデル800」へのリプレース、パッケージのカスタマイズ、マスターの準備といった導入・開発作業を進めた。サービスインは同年8月。安中市にある1店舗と高崎市にある2店舗および本社部門に新たに合計4台のPC-POSを導入し、IP-VPNで接続している。

PC-POSからのデータは即時更新され、iSeriesの操作により同期を図る小売店の売り上げは、iSeries上で一つの得意先として扱っている。今回の導入により、狙い通り全商品に単品管理番号を付与し、詳細な売り上げ分析および商品動向などの分析が可能になった。また小売店の顧客に関しては、購買動向を分析し、きめ細かなアフターフォローが実現している。



三輪義孝  
総務部 次長

「卸しと言えども、最近は企画型提案が不可欠です。データの分析力が武器であり、消費者動向をいち早くキャッチして企画に反映することが求められます。今回の導入で、iSeriesとWindowsサーバーが統合されたことにより、画像や音声・映像といったマルチメディア素材もiSeriesに一元化し、企画素材として管理することが可能になります。iSeriesは今まで、画像や音声などのデータ管理に弱かったのですが、今後は携帯端末などの利用も含め、基幹データと商品画像などのデータを統合し、利用方法を弾力的に考えることができると思います」(三輪次長)

iSeriesとWindowsサーバーの統合環境実現により、同社は小売り事業のさらなる強化と卸しの新たな役割を目指していくことになりそうだ。

雑な運用管理作業、たとえば数週間一度の再起動や個別のテープバックアップなどは不要となる。また、iSeriesとは信頼性やセキュリティレベルが格段に異なるため、Windowsサーバーではどうしても障害対策やセキュリティ対策を慎重に考慮する必要があるが、IXSの利用によりこうした懸念からも解放されるわけだ。

さらに、iSeriesとWindowsサーバー間の通信ではHSL(High Speed Link)による仮想イーサネットを活用し、LANカードを追加せずに高速内部通信が行えるという利点もある。

「エンドユーザーはもちろんですが、システム担当者にとってもWindowsサーバーの存在やその運用管理面をまった